

環境パートナーシップ

～多様な主体との協働から考えるEA事業の活性化～

● 環境省

1

● 四国環境パートナーシップオフィス

● 所長 常川 真由美



四国EPOの紹介

環境教育等促進法第19条に基づく、環境保全活動、環境保全意欲の増進及び環境教育並びに協働取組等の取組を効果的に推進するための拠点として、平成16年度より全国8か所で、地方環境パートナーシップオフィスを整備・運営。

四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)は、平成19年1月、香川県高松市に開所。



住所:香川県高松市寿町2丁目1-1高松第一生命ビル新館3F

電話:087-816-2232

メール: 4epo@4epo.jp

運営受託団体:特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク

四国EPOの主なサービス内容

1. フリースペースの提供
2. 環境教育や協働に関する相談・教育サポート
3. 多様な主体との協働をコーディネート
4. 政策提案に関する相談窓口
5. イベントセミナーの開催、取材等の広報
6. フェイスブックでの発信

<https://www.facebook.com/shikokuEPO>

7. ホームページでの発信 <http://4epo.jp/>
8. メールマガジンの発信 申込 4epo@4epo.jp
8. 環境情報データベース、環境情報メーリングリスト
情報掲載数:約60件/月、閲覧者数:約2,500名/月

新聞記事をデータベース化

情報番号	冊子番号	情報入手元	記事掲載日(年、月)	情報入手日	地域	市町村名	概要、キーワード	関係する人物名や組織名、施設名	分野		
									水、川、海、ビオトープ等	交通	ESD・環境教育
香44	香川EN2	四国新聞	2013年7月5日	香川県	丸亀市	飯山高校で1万本のひまわり利用した巨大迷路オープン	飯山高校				
香45	香川EN2	四国新聞	2013年7月9日	香川県	まんのう町	ひまわり油を活用したひまわりロック開発、新たな特産品に	農事組合法人ほのやま、仲南振興公社				
香46	香川EN2	四国新聞	2013年7月10日	香川県	土庄町	作業廃棄物スラグで陶芸作品展、直島で開催	直島スラグ陶芸体験工房				
香47	香川EN2	四国新聞	2013年7月11日	香川県	さぬき市	放魚祭で地元児童らが稚魚5万匹放流	香川県水産振興協会	●			
香48	香川EN2	四国新聞	2013年7月11日	香川県	土庄町	絶滅危惧種カプトガニを笹岡の博物館に提供	岡山県笹岡市立カプトガニ博物館				
香49	香川EN2	四国新聞	2013年7月7日	香川県	坂出市	自治会住民、職員500人で海岸の一斉清掃	リフレッシュ瀬戸内				
香50	香川EN2	四国新聞	2013年7月14日	香川県	高松市	屋島山上に多年草植物クラブア植樹	高松市	●			
香51	香川EN2	四国新聞	2013年7月15日	香川県	観音寺市	親子潮干狩り体験に4500人が参加、浜辺の生き物と触れ合う	かんおんじ銭形まつり協賛会				
香52	香川EN2	四国新聞	2013年7月16日	香川県	香通寺市	自身の田んぼキャンパスに田んぼアート	石井孝好氏(農家)				
香53	香川EN2	四国新聞	2013年7月22日	香川県	高松市	海ごみ回収する海面清掃兼油回収船を一般公開	四国地方整備局	●			
香54	香川EN2	四国新聞	2013年7月24日	香川県	三豊市	ダンボールコンポスト資材、市民に無料配布	三豊市				
香55	香川EN3	四国新聞	2013年7月25日	香川県	さぬき市	県内農業高校生徒「日本学校農業クラブ県大会」で学習成果発表	日本学校農業クラブ連盟				
香56	香川EN3	四国新聞	2013年7月31日	香川県	まんのう町	「ふるさとの川あそび」で土器川の水質調査	こんぷらライオンズクラブ	●		●	
香57	香川EN3	四国新聞	2013年8月2日	香川県	高松市	県庁で親子環境学習講座をまじめて開講節電対策について学ぶ	香川県			●	
香58	香川EN3	四国新聞	2013年8月5日	香川県	高松市	児童が港でチヌの稚魚1万5千匹を放流	日本釣振興会香川県支部	●		●	
香59	香川EN3	四国新聞	2013年8月7日	香川県	高松市	部活動ボランティアで奉仕作業を実施	香東中学校				
香60	香川EN3	四国新聞	2013年8月8日	香川県	多度津町	溜池の水質悪化防くためイケチョウガイを使った水質浄化作業開始	多度津町、多度津高校	●		●	

掲載記事から、場所、見出し、関係する団体名等をデータベース化し、分類分けをしています。必要に応じて情報収集が可能。現在1,440件の情報を登録しています。

国際理解 (異文化理解)

多様な文化が生活、価値観を持つ人々が地域や世界に存在することをおよぼすことにより、互いを尊重し、共生することを理解する。

自分の生活が、外国の風土、生活と関わっていること、理解し、相互の関係を発展させるため行動を考え、実践できる。

社会参画

伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う(国語)と7と11、事業の理解力、考察し、思考する力を高める(英語)の両方、互いに成長を促し、担い手としての責任を担う。異なる意見の人口を増やして、互いに理解し、自分たちにできることを考え、実践できる。

健康

現存の心の健康に与える影響を聞き、ともに、甲斐なく生きていく。多様な価値観を尊重し、自分たちにできることを考え、実践できる。

生命

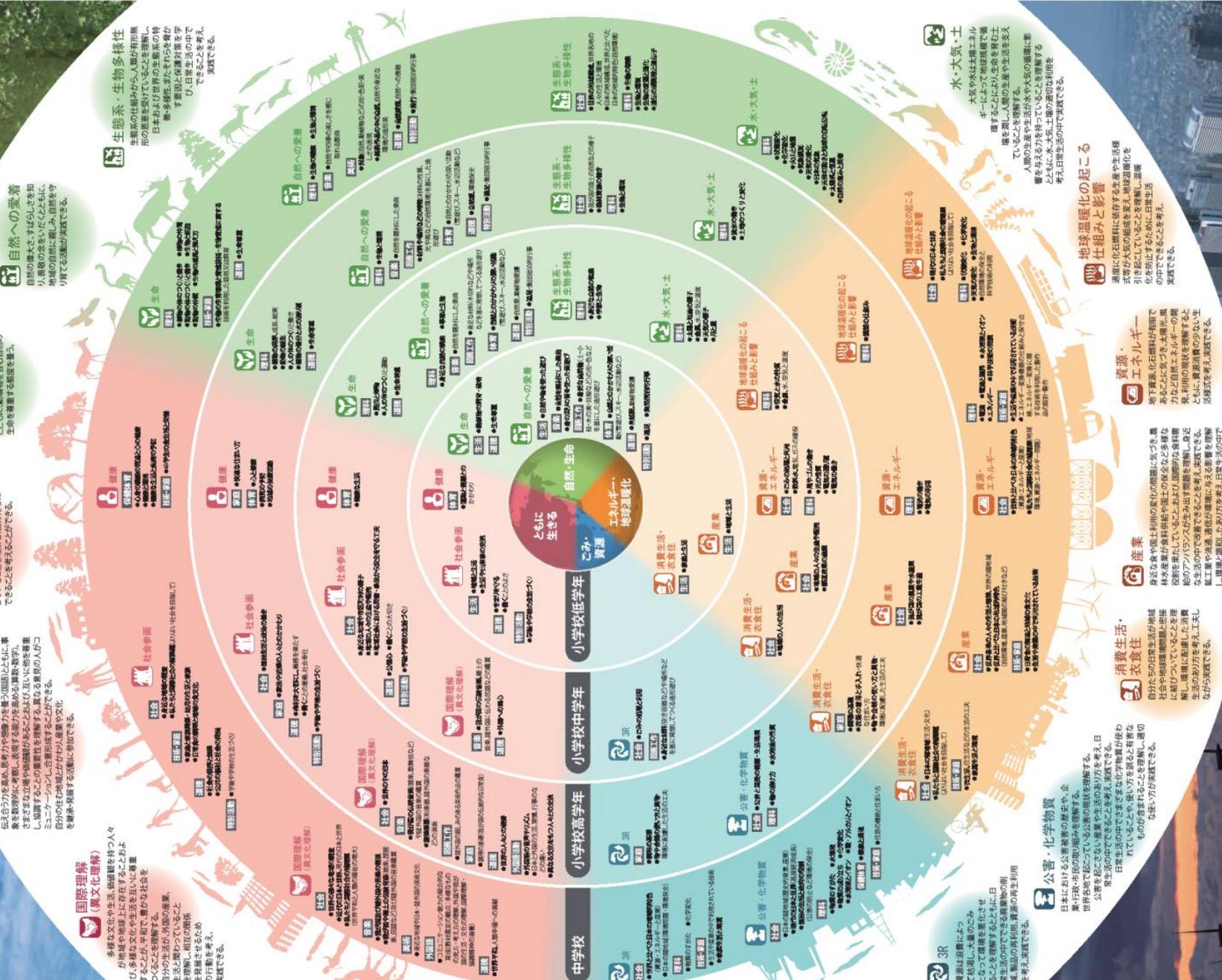
生物の誕生、生物の成長の仕方が、知り、生物の多様性を尊重し、生命を尊重する態度を養う。

自然への愛着

自然の偉大さ、すばらしさを知り、畏敬の念をいだくとともに、地域の自然に親しみ、自然を守り育てる意識が実践できる。

生態系・生物多様性

生物種の仕組みから人間が有形成形の生態系に対して、生物多様性を尊重し、多様な生き物や生態系を大切にする。また、自然環境を保護し、自然環境を大切にする。また、自然環境を大切にする。また、自然環境を大切にする。



地球温暖化の起こる仕組みと影響

温室効果ガスが増えることで、地球の気温が上昇し、気候変動を引き起こす。これにより、自然環境や生態系に大きな影響を与える。また、人間社会にも様々な影響を及ぼす。

資源・エネルギー

地球には有限な資源とエネルギーが存在する。持続可能な社会を実現するために、資源を大切に使い、エネルギーを効率的に利用することが重要である。

消費生活・衣食住

私たちの生活は、消費生活、衣食住を通じて成り立っている。持続可能な社会を実現するために、消費生活や衣食住の面で環境に配慮することが求められる。

産業

産業は私たちの生活を支えている。持続可能な社会を実現するために、産業の発展と環境保護の両方を追求することが重要である。

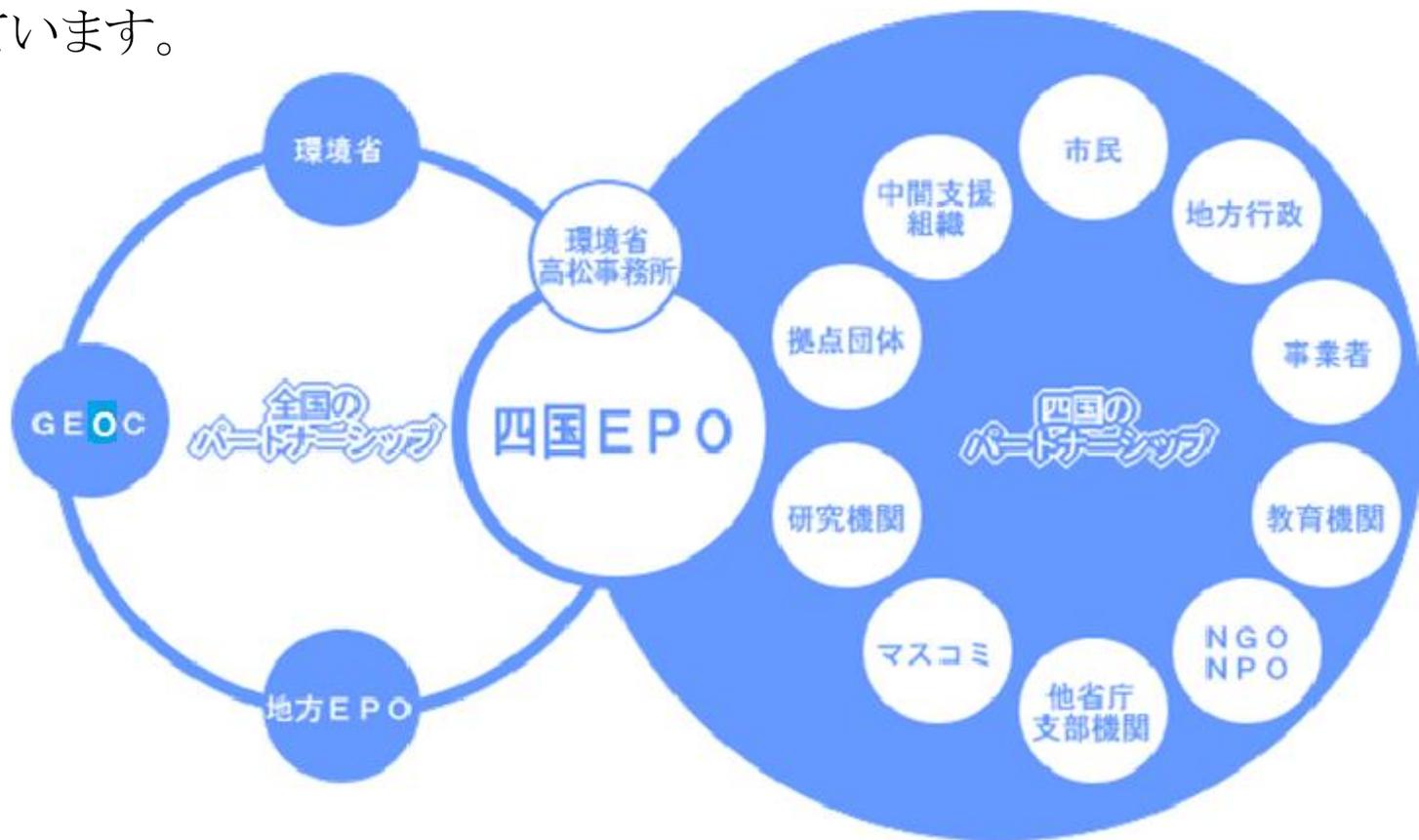
公共・化学物質

公共の場や化学物質の取り扱いには、安全と健康を最優先に考える必要がある。持続可能な社会を実現するために、公共の場や化学物質の取り扱いを適切に行うことが求められる。



多様な主体との協働・パートナーシップ構築

環境問題の解決に向けた取り組みには、パートナーシップが重要です。市民、NGO/NPO、企業、行政などの相互の連携・協働による環境保全活動をサポートするために、情報収集やコーディネート、相談対応を行っています。



事例1：(株)日誠産業

パルプ×平和の折り鶴

→協働・社会貢献、新たなビジネスチャンス

事例2：うどんまるごと循環コンソーシアム

バイオマス発電×うどん残さ

→協働・広報・環境教育、新たな顧客の獲得

事例3：グリーンギフト、セーブジャパン

CSR(社会貢献)×環境教育・ESD

→協働・環境教育ESD、企業イメージ向上

事例4：環境系NPO・起業支援

三浦保基金、日本トリムベンチャー支援、せとうちオリーブ基金(ユニクロ募金箱)

最後に

各地のEPO(情報拠点)の利用により、
企業に新しい風(情報、きっかけ、熱意)

を伝えることで、

環境イノベーションへとつながる！

審査→コミュニケーション



ご清聴ありがとうございました。
四国EPO



今年はESD(持続可能な開発のための教育)の10年
岡山市と名古屋市で11月に国際会議が開催されます。